

今月の

# 数字

# 19,379 千m<sup>3</sup>

(全国の冷蔵倉庫の空き容積)

松田 恭子

**Profile** まつだ・きょうこ ●日本能率協会総合研究所で公共系地域計画コンサルタントとして10年間勤務後、東京農業大学国際食糧情報学科助手を経て農業コンサルタントとして独立。実需者と生産者の連携の仕組みづくりや産地ブランド戦略を支援している。日本政策金融公庫農業経営上級アドバイザー試験合格者。株式会社ソシエイト代表取締役。

今から約100年前の1917年、第一次世界大戦前後に下落した米価の安定化を図るため、農業倉庫業法が施行された。1914年に大戦が始まると米価は暴落し、地主層は大きな打撃を受けたため、帝国農会が米価調節に関する建議を3年間にわたって行ない、これを受けて政府は米価安定を図るため施策をスタートした。農業倉庫は設立当初、生産者・農業経営者、農業協同組合、農業組合連合会、販売組合、販売組合連合会等が非営利で運営するものだったが2016年に廃止され、農協倉庫の運営は改正農協法において農業協同組合の事業活動として位置づけられることになった。「平成28年事業年度総合農協一斉調査結果」によれば、2016年時点で508の組合に6,405棟、延べ3,629千m<sup>3</sup>、収容能力6,333千tの農業倉庫が存在する。青果物貯蔵施設は444組合、2,066箇所である。

一方、民間の倉庫は、倉庫業法において「倉庫業を営もうとする者は、国土交通大臣の行う登録を受けなければならない」と規定されており、全倉庫業者から提出される定期報告が統計として四半期毎に公表されている（農業倉庫、漁協や事業協同組合による協同組合倉庫、自家用倉庫を除く）。2017年3月の普通倉庫（1～3類）保管残高を品目別にみると、最も多い電気機械（2,019千t）に次いで米の保管量が2,011千tと多く、全品目残高25,412千tの7.8%を占めている。米の保管残高を地域別にみると、北海道（219千t）、福島（169千t）、秋田（119千t）、新潟（116千t）と米産地での貯蔵が多い。冷蔵倉庫の総保管残高3,353千tのうち量の多い品目は、冷凍水産物（939千t）、冷凍食品（556千t）、畜産物（554千t）で大半を占めているが、これらの保管は東京、神奈川、大阪、兵

庫に集中しており、輸入品の保管が多いことがわかる。冷蔵倉庫の利用は普通倉庫に比べて少なく、しかも地域は貿易港付近に限られている。もともと他の地域では冷蔵倉庫は少ないのかと思ったらそうではない。

冷蔵倉庫の空き容積

順位	四半期 都道府県	2017 1-3	2017 4-6	2017 7-9	2016 10-12	min/max %
		千m <sup>3</sup>	千m <sup>3</sup>	千m <sup>3</sup>	千m <sup>3</sup>	
	単 位	千m <sup>3</sup>	千m <sup>3</sup>	千m <sup>3</sup>	千m <sup>3</sup>	%
	合 計	21,071	20,241	21,179	20,452	96
1	北海道	1,770	1,764	1,656	1,633	92
2	青 森	574	565	571	514	90
3	岩 手	100	114	124	99	80
4	宮 城	985	1,226	1,217	1,078	80
5	秋 田	30	27	27	26	87
6	山 形	63	62	62	64	97
7	福 島	150	153	152	153	98
8	茨 城	210	217	231	222	91
9	栃 木	166	112	115	167	67
10	群 馬	2	2	2	2	100
11	埼 玉	1,011	721	1,061	1,041	68
12	千 葉	989	989	1,021	994	97
13	東 京	1,840	1,834	1,811	1,852	98
14	神奈川	2,651	2,551	2,566	2,555	96
15	新 潟	127	112	111	121	87
16	富 山	108	106	110	105	95
17	石 川	128	132	132	131	97
18	福 井	33	32	32	36	89
19	山 梨	0	0	0	0	
20	長 野	109	116	131	111	83
21	岐 阜	21	22	21	22	95
22	静 岡	921	915	878	870	94
23	愛 知	1,191	1,097	1,080	1,174	91
24	三 重	126	120	125	127	94
25	滋 賀	52	52	52	101	51
26	京 都	107	104	108	109	95
27	大 阪	2,020	2,019	2,021	2,046	99
28	兵 庫	1,361	1,361	1,411	1,348	96
29	奈 良	20	25	25	13	52
30	和歌山	92	137	139	78	56
31	鳥 取	84	82	145	86	57
32	島 根	20	20	37	19	51
33	岡 山	112	114	198	117	57
34	広 島	281	262	518	273	51
35	山 口	271	208	278	270	75
36	徳 島	57	53	55	20	35
37	香 川	218	67	68	219	31
38	愛 媛	193	172	178	215	80
39	高 知	34	39	42	34	81
40	福 岡	1,269	1,215	1,244	1,245	96
41	佐 賀	701	399	423	382	54
42	長 崎	133	124	128	141	88
43	熊 本	74	82	101	84	73
44	大 分	50	50	51	51	98
45	宮 崎	219	221	289	199	69
46	鹿 児 島	301	347	329	212	61
47	沖 縄	94	100	101	91	90

1～3類倉庫の空き容積14,254千m<sup>3</sup>に対して冷蔵倉庫は21,071千m<sup>3</sup>。稼働の季節変動を考慮し、最小量を積み上げても19,378千m<sup>3</sup>の空き容積がある。情報の連携によりうまく活用できないか。